

アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)の
実践を学ぶ

E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

アドバンス・ケア・プランニング
(人生会議)の実践を学ぶ



Education For Implementing End-of-Life Discussion

学習目標

- ACP（人生会議）の具体的な実践方法について理解する。詳細は以下の通り
 - － 一般的なルールを使う
 - － 病状の認識を確かめる
 - － もしも、のときについての話し合いを導入する
 - － 本人の意思を推定する者を選定する
 - － 本人の意思を推定する者とともに話し合い、プロセスを共有する
 - － 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
 - － 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
 - － 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する



Education For Implementing End-of-Life Discussion

学習目標

- ACP（人生会議）の中で最も実践が難しい「話し合いの導入」ができるようになる
- 本人のACP（人生会議）の話し合いに関するレディネス（準備状態）を確認することができる



Education For Implementing End-of-Life Discussion

このセッションの構成

- ロールプレイの課題の確認
- 事例提示
- 講義
- 二人組みでロールプレイ
- フィードバック
- 講義

} 2回



Education For Implementing End-of-Life Discussion

事例…

- 楠木さん、現在84歳、男性
- 妻(80歳)と二人暮らし
- 小児の時に肺結核に罹患した影響で、低肺機能の状態
- 軽度の心不全も合併している
- 50代の頃、胆石症で胆嚢摘出術の既往がある
- 60代から両膝の変形性膝関節症で整形外科に通院
- 78歳の時に脳梗塞を発症し、それを機に日常生活動作能力が低下したが、自分の身の回りのことは自分でできていた



Education For Implementing End-of-Life Discussion

…事例…

- 今年84歳になった。変形性膝関節症の増悪で右膝が痛み、大半をベッド上で過ごし妻に介護負担をかけるようになったため、家族や医療者と話し合った末、全人工膝関節置換術を受けた
- 手術自体は成功し、右膝の痛みはやや改善し自宅に退院した
- しかし痛みは残存し、一日の大半をベッド上で過ごす生活は変わらなかった。通院もままならなくなり、訪問診療を受けるようになった。食事は、術前は米飯を食べることが出来ていたが、時折むせるようになり、おかゆを好むようになった



Education For Implementing End-of-Life Discussion

…事例…

- 膝の手術から3ヶ月後経った頃に発熱と咳嗽症状が出現。訪問診療医は誤嚥性肺炎と診断。1週間の抗菌薬の治療を在宅で受けた
- しかし、それを機にさらに嚥下機能が低下し、主食をおかゆにすることに加えて、おかずはミキサーにかけer必要性が出てきた
- 徐々に全身状態が悪化し明らかにやせが進行



…事例

- 主治医は、今後も肺炎を繰り返す可能性が高いと判断している
- 加えて、脳梗塞の再発や心不全増悪のリスクもあると判断している
- 現在、楠木さんの肺炎は落ち着き、食事の時にたまにむせることはあるが調子はまずまず
- 楠木さん本人は今後のことを少し心配しているものの、まだまだ大丈夫と考えている様子

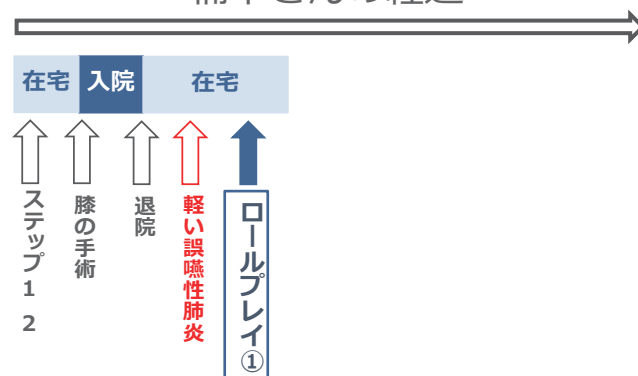


ロールプレイ場面

- 今日は外来フォロー受診のため病院に来院されました（膝の手術から4ヶ月後）
- あなたは楠木さんと会う約束をしています
- 医療・ケアに関わる専門職として「今後のこと、もしものとき」について話そうと考えています
 - －例）重症肺炎になったらどんな治療を望むか、
 - －食べるのが難しくなったらどんな治療を望むか、など



楠木さんの経過



皆さんならどのように話しますか？

- 今日は外来フォロー受診のため病院に来院されました（膝の手術から4ヶ月後）
- あなたは楠木さんと会う約束をしています
- 医療・ケアに関わる専門職として「今後のこと、もしものとき」について話そうと考えています
 - －例）肺炎になったらどんな治療を望むか、
 - －食べるのが難しくなったらどんな治療を望むか、など



概要

- **一般的なルール**
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 本人の意思を推定する者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する



一般的なルール…

- 礼儀正しく、丁寧に
- 患者・家族等の防衛機制に応じて**侵襲的でない**コミュニケーションを
- もしも・・・万が一・・・という前置きで始める



…一般的なルール…

- 相手の感情に留意
 - 表情、視線、しぐさ
- 感情に気づいたら、感情への対応を優先する
 - これをおろそかにすると、質の高いコミュニケーションは難しい
 - 時には時間の浪費になってしまうことさえある



…一般的なルール

- 最善を期待し、最悪に備える
(Hope for the best, Prepare for the worst.)
 - まず患者・家族の希望や大切にしていることを尋ね、探索し、共感し、理解する
 - そのうえで、今後の病状の変化に備えて、もしもの時についての話を切り出す
- とともに希望を持ち、ともに心配すること

Back AL, Arch Int Med 2007



概要

- 一般的なルール
- **病状の認識を確かめる**
- 話し合いを導入する
- 本人の意思を推定する者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する



病状理解を尋ねる

- 病状についてどのように説明を受けていらっしゃるでしょうか？
- 今後の医療・ケアについてどのように説明を受けていらっしゃるでしょうか？〇〇さんの言葉で教えていただけますか？
- 〇〇さんの病状についてはカルテを読ませていただいたので、大体のことは承知しているのですが、今後のことをご相談するために〇〇さんが病状をどうとらえていらっしゃるのかを伺いたいと考えています



概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- **話し合いを導入する**
- 本人の意思を推定する者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する



準備状態（レディネス）を確認する

- 万が一の時のことを考えてお聞きするのですが、
 - 前回と同じような状況になった時のことをお考えになったことがありますか？
 - 病状のために身の回りのことをすることができない状態になった時のことをお考えになったことがありますか？
 - 飲み込むことがうまくできなくなり、口から食べることが難しくなったらどうしよう、と考えたことはありますか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

もしもの時について話し合いを始める…

- 準備状態を尋ねる質問に「考えたことがある」と答えた場合
 - もしよろしければ、どのようにお考えになったかを詳しく教えていただけますか？
 - もしそうなってしまった（準備状態の質問で尋ねた内容）時のことについて、これから相談をしていきたいと思うのですがよろしいでしょうか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

…もしもの時について話し合いを始める

- 準備状態を尋ねる質問に「考えたことはない」と答えただけで、考えることにあまり抵抗はない様子である場合
 - とともに希望を持ち、ともに心配する
 - 例）できるだけ今の状態が維持できるようにできるだけ努力しようと思っています。その一方で、もし病状が悪くなったらどうしようと、とても心配になっています。もしもの時のことについて話し合いをしておきたいと思っているのですがよろしいでしょうか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

準備ができておらず、 今後のことについて考えたくない 様子である場合

- 準備状態を尋ねる質問に「考えたくない」と答え、話し合いを続けることに抵抗がありそうな場合
 - 話し合いを続けることが侵襲となる可能性があるため、別のタイミングを見計らう



Education For Implementing End-of-Life Discussion

E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）
の実践を学ぶ
「もしも、のときについて話し合いを始める」



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①をしてみよう

一般的なルールに従い、以下の3点に着目して行います

- 病状の認識を確かめる
- 準備状態（レディネス）を確認する
- もしもの時について話し合いを導入する



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①

- 個人で作業をします
- あなたは医療・ケアに関わる専門職として、楠木さんと、「今後のこと、もしものとき」について話そうと考えています (P.107)
- どんな言葉で話し始め、声掛けをするか、書き出してみましょう (P.109 約10分)
- ※ 読める字で書いてください (後で見せ合うため)
- ※ 各々の専門職の立場で結構です

説明後、ブレイク・アウトルームに分かれて作業します



Education For Implementing End-of-Life Discussion

一般的なルールを使いながら ACP（人生会議）の話し合いを はじめてみましょう

- 病状の認識を確かめる
- 準備状態（レディネス）を確認する
- もしもの時について話し合いを導入する

※必ず「もしものときについての話し合い」を行うようにしてください



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①

- 参加者名簿で、施設の参加者のうち、誰がAさん、Bさん、Cさん、Dさんなのかを確認してください



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①

- 役になりきる : 2分
- ロールプレイ : 10分
- フィードバック : 4分
- 言葉の修正 : 1分



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①

- Aさんは医療・福祉従事者役
- Bさんは楠木さん役です
- C Dさんは観察者です
- ロールプレイ実施上の注意
 - 先程提示した情報以外は自由に設定して構いません
 - 話しやすいように座席を調整してください
 - 必ずACPの話し合いの導入を試みてください
 - 時間が余っても役を解かず、楠木さんと医療・福祉従事者の関係で会話を続けてください



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①

- 2分間で各々の役になりきってください
 - 楠木さん役は、ワークシートの情報に加えてSTEP1・2の情報も参考に役作りをしてください
 - 医療・福祉従事者役は、どのように話をすすめるかを具体的にイメージしてみてください

全体のまま個人作業です



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ①

- 時間は10分間です
- ロールプレイを開始してください

ブレイク・アウトルームに分かれて行います



Education For Implementing End-of-Life Discussion

フィードバック

- 病状の認識を確かめる
- 準備状態（レディネス）を確認する
- もしもの時について話し合いを導入するについて、

- どのような点がよかったか
- どんな話し方が有効だったか
- 改善した方がよいところはどこか、検討したいことはあるか

医療・福祉従事者役のワークシートを共に見ながら話し合ってください

説明後、ブレイク・アウトルームに分かれて作業します



Education For Implementing End-of-Life Discussion

言葉の修正

- 医療・福祉従事者役の方は、フィードバックの内容を活かして、言葉をさらに良いものにしてください
- 楠木さん役の方は、次に医療・福祉従事者役となりますので、自分の言葉を見直し、さらに良いものにしてください

全体のまま個人作業です



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ① 2回目

- Cさんは 医療・福祉従事者役
- Dさんは 楠木さん役です
 - 2人の場合は先程と役割を交換してください
 - 3人の場合はAさんが楠木さん役です
- ロールプレイ実施上の注意
 - 先程提示した情報以外は自由に設定して構いません
 - 話しやすいように座席を調整してください
 - 必ずACPの話し合いの導入を試みてください
 - 時間が余っても役を解かず、楠木さんと医療・福祉従事者の関係で会話を続けてください



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ① 2回目

- 2分間で各々の役になりきってください
 - 楠木さん役は、ワークシートの情報に加えてSTEP1・2の情報も参考に役作りをしてください
 - 医療・福祉従事者役は、どのように話をすすめるかを具体的にイメージしてみてください

全体のまま個人作業です



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ロールプレイ① 2回目

- 時間は10分間です
- ロールプレイを開始してください

ブレイク・アウトルームに分かれて行います



Education For Implementing End-of-Life Discussion

フィードバック

- 病状の認識を確かめる
- 準備状態（レディネス）を確認する
- もしもの時について話し合いを導入するについて、

- どのような点がよかったか
- どんな話し方が有効だったか
- 改善した方がよいところはどこか

医療・福祉従事者役のワークシートを共に見ながら話し合ってください

説明後、ブレイク・アウトルームに分かれて作業します



Education For Implementing End-of-Life Discussion

言葉の修正

- フィードバックの内容を活かして、明日からの実践で使える言葉を完成させてください

全体のまま個人作業です



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ここから講義（後半）です



Education For Implementing End-of-Life Discussion

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- **本人の意思を推定する者を選定する**
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する



Education For Implementing End-of-Life Discussion

本人の意思を推定する者

- 本人の意思を推定する者をあらかじめ本人が選定する
- 本人の意思を推定する者とともに今後の医療・ケアについて話し合い、その過程を共有する
 - 本人にとって大切なこと、価値観、希望、を共有することができる



Education For Implementing End-of-Life Discussion

本人の意思を推定する者を選定する…

- 病状によっては、病気の治療やケアについて、ご自分で決めることが難しくなることがあります
- そのような場合に、〇〇さんが大切にしていることがよくわかっていて、〇〇さんの代わりに治療やケアについて話し合いをしてくださる方はどなたになりますか？
 - その方は、〇〇さんがこのような気持ちでいることをご存知ですか？
 - その方とご病状やこれからの医療・ケアについて話し合ったことはありますか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

本人の意思を推定する者 とともに話し合う

- もしよろしければ、次回までに**さんにこのこと（〇〇さんが〇〇さんの意思を推定する者になってほしいと思っていること）を伝えて、次回一緒にお越しいただけませんか？
- （本人の意思を推定する者に対して…）
〇〇さんはこのようなお気持ちでいらっしゃいますが、今後、もし病状のために〇〇さんが意思が伝えられなくなった時に、〇〇さんのお気持ちを医療・ケアチームに伝えていただくことはできますか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

本人の意思を推定する者と 意思決定を共有する

- 「本人の意思を推定する者」が、どのような役割を果たすかについて、医療・ケアチームを含めた話し合いをもつことが重要
 - － 家庭などでの日常の語りを通して、本人の価値観への理解が深まることを期待する
- 複数の本人の意思を推定する者がいるとき（もしくは想定されるとき）
 - － 同席してもらう機会を作る
 - － 記録を残し共有
 - － 録音する



Education For Implementing End-of-Life Discussion

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 本人の意思を推定する者を選定する
- **療養や生活での不安・疑問を尋ねる**
- **療養や生活で大切にしたいことを尋ねる**
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する



Education For Implementing End-of-Life Discussion

不安や疑問を尋ね、 主治医との仲介役になる

- （今後の）病気や治療のことでわからないことや不安なことはありますか？
 - － よろしければそのことについて詳しく教えてください
 - － そのことについて、先生に相談したことはありますか？
 - もしよろしければ尋ねてみませんか？
 - もしよろしければ、私から、先生にそのことを話してもらえようをお願いしましょうか？
 - 〇〇さんが、このことを不安に思っていることについて主治医の××先生にお伝えしてよろしいですか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

希望・大切にしていること してほしくないことを尋ねる

- 生活や療養の上で一番大切にしていることはどんなことですか？
- 今後どのような医療・ケアを受けていきたいか具体的な希望はありますか？
- 逆に今後これだけはしてほしくないということはありますか？
- それはどうしてですか？具体的に教えてください



Education For Implementing End-of-Life Discussion

経験を尋ねて探索する… （以前に経験がある場合の尋ね方）

- 万が一
 - － 前回と同じような状況になった時に、〇〇さんのお考えに沿って医療・ケアを進めるために、〇〇さんの療養についてのお考えを伺っておきたいと思っています
 - － もし前回と同じ状態になった場合にどのように医療・ケアを進めてほしいか、何か具体的な希望はございますか？
 - － どのようなことが一番ご心配ですか？
 - － これだけはしてほしくないということがあったら具体的に教えてください
- なぜそのようにお考えか詳しく教えていただけますか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

…経験を尋ねて探索する

(以前に経験がなく一般的な例示をする場合)

- 病状が進むと、意識が薄れて、ご自分の意思を伝えることが難しくなることがあります
- 万が一のために
 - 病状のために身の回りのことができなくなった時のことについて話し合っておきたいと思っています。そのような時はどこでどのように治療・療養をするか考えたことはありますか？
 - そのような場合に何か具体的な希望はありますか？
 - そのような場合に一番心配なことはどんなことですか？
 - そのような場合に、これだけはしてほしくないということがあったら具体的に教えてください
- なぜそのようにお考えか詳しく教えていただけますか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

…いのちに対する考え方を探索する

- 自分の考えを伝えることができないくらい病状が悪化し、改善の見込みが無い場合、どのような治療を望みますか？
 - 以下自由回答が得られなければ例示
 - 延命に重点を置く
 - ICUへの入室、気管挿管、人工呼吸をする
 - 基本的・一般的な内科治療
 - ICUへの入室、気管挿管、人工呼吸はしない
 - 延命は考えず、快適に過ごすことに重点を置く
- それはどうしてですか？



Education For Implementing End-of-Life Discussion

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 本人の意思を推定する者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- **治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する**



Education For Implementing End-of-Life Discussion

具体的な治療などに対する説明…

- 私たちは〇〇さんの 希望に沿った医療・ケアを行えるように努力していこうと思っています
- 現在の病状は・・・
- 今後起きうる状態としては・・・
- 具体的な治療の選択肢は・・・
- それぞれの治療のメリットとデメリットは・・・
- 書面などに書きながら具体的に



Education For Implementing End-of-Life Discussion

…具体的な治療などに対する説明 話しておくことが望ましい内容

- 今後の治療の希望とその理由
- してほしい事／してほしくない事とその理由
- どこで療養したいかとその理由
- 以下の生命維持治療に関する意向とその理由
 - 疾患特異的な治療
 - 人工呼吸器
 - 経管栄養
 - 輸液
 - 抗菌薬
 - 心肺停止時の心肺蘇生 など



Education For Implementing End-of-Life Discussion

参考：意思の柔軟性（Flexibility）

- 本人の事前意思は常に本人にとっての最善か？
 - 本人の希望していた医療・ケアと医療・ケアチームの推奨、本人の意思を推定する者の意向が食い違う
 - 本人の想定していたことと実際に起こっていることが異なる
 - 事前意思と本人の意思を推定する者の考える本人にとっての最善が異なる
- 本人の意思の柔軟性をあらかじめ尋ねておくことで、本人の意思を推定する者の苦悩が軽減する

※ガイドラインには記載されていません



Education For Implementing End-of-Life Discussion

例えば…

- 肺癌進行期で予後が3–6ヶ月と推定される患者が、もし病状が進行して、呼吸状態が悪くなったら人工呼吸器をつけてほしくないと意向表明
- 現在は身の回りに事は自分ででき、できるかぎり家族といっしょにいたいと願っていた
- 1週間後、細菌性肺炎で救急外来を受診。人工呼吸器の使用が必要と判断され、8割の確率で救命可能だと言われたとしたら・・



…参考：意思の柔軟性について尋ねる

- 病状の変化のために、予想していないことが起こって、医師が（本人の意思を推定する者である）××さんと話し合った上で、〇〇さんの考えと違う治療がより良いのではないかと考えた場合、どう判断するのがよいでしょうか？
- （本人が自宅での療養を望んでいる場合…）
もし（本人の意思を推定する者の）××さんが（本人である）〇〇さんにケアをすることがとても負担になったり、家で療養を続けることが困難になった場合、どのようにしたらよろしいでしょうか？

※ガイドラインには記載されていません



面接のおわりに

- 感謝を伝える
– 今日はお気持ちを聞かせていただいて本当にありがとうございました
- 継続してともに考えていくこと、わからないことはいつでも質問できることを伝える
– 今日お話ししたことをもとに、いろいろ調整してみますね
– 私たちは、〇〇さんのご意向を尊重したうえで、最善の医療・ケアができるように一緒に考えていきたいと思っています。何か気になることがあったら何でもおっしゃってください



まとめ

- 生命の危機がある疾患や病態に直面している 本人・家族等と今後の人生、生活、医療・ケアについて話し合うことが重要である
– 非侵襲的なコミュニケーションを心がける
 - 万が一、もし・・・としたら
 - もしもの時、について話す心構えができているかレディネスを確認する
- 最善を期待し最悪に備える
- 話し合いを切り出すことができる



楠木さんの経過

